

支部保険者機能強化予算について

1. 支部保険者機能強化予算の概要
2. 令和元年度 支部保険者機能強化予算の執行状況について（滋賀支部）
3. 令和2年度 支部保険者機能強化予算について（協会全体）
4. 令和2年度 支部保険者機能強化予算について（滋賀支部）
5. 令和3年度 支部保険者機能強化予算策定のプロセスについて

1. 支部保険者機能強化予算の概要

支部保険者機能強化予算とは

中長期的な財政運営という観点も踏まえて、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的に、医療費適正化や健康づくり等の保険者機能を発揮・強化する取り組みを実施する場合に計上する経費

令和元年度から、特別計上関係予算については廃止し、

①基礎的業務関係予算、②支部医療費適正化等予算、③支部保健事業予算の予算体系へと変更。

令和元年度からの予算体系

基礎的業務関係予算

①基礎的業務関係予算

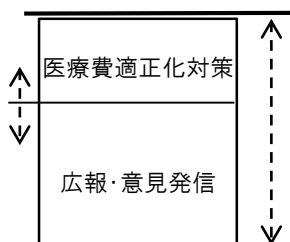


支部保険者機能強化予算

②支部医療費適正化等予算

企画・サービス向上関係経費 全体予算枠（8億円程度）
滋賀支部予算10,684千円

分野ごとの配分は原則、支部の裁量で設定できる。



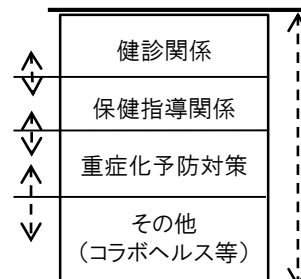
全体予算枠について、支部毎に配分。

③支部保健事業予算

保健事業経費

全体予算枠（40億円程度）
滋賀支部予算35,184千円

分野ごとの配分は原則、支部の裁量で設定できる。



全体予算枠について、支部毎に配分。

2.令和元年度 支部保険者機能強化予算の執行状況について (滋賀支部)

令和元年度 滋賀支部 保険者機能強化予算執行状況

① 支部医療費適正化等予算

(単位：円)

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	2年度実施
医療費適正化対策	企画部門	保険薬局に対するジェネリック医薬品使用状況等の情報提供サービス	4,871,780	4,908,578	100.8%	×
		お薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品使用促進	945,000	623,070	65.9%	○
		平成31年度ポテンシャル分析	3,850,000	3,850,000	100.0%	×
		小計	9,667,000	9,381,648	97.0%	
	合計	9,667,000	9,381,648	97.0%		
広報・意見発信		紙媒体による広報	2,046,000	1,328,373	64.9%	
	その他の広報	メディアを活用した協会けんぽ広報の実施	1,089,300	1,089,300	100.0%	○
		小計	1,090,000	1,089,300	99.9%	
	合計	3,136,000	2,417,673	77.1%		
総計			12,803,000	11,799,321	92.2%	

②支所保健事業予算（主な実施事業）

（単位：円）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	2年度 実施
健診経費		事業者健診HbA1c追加検査費		0		○
		治療中の者の検査結果情報提供料		0		
		健診予定者名簿送料		0		
		健診実施機関実地指導旅費		0		
	集団健診	協会主催の集団健診の実施（被扶養者）	9,524,750	7,421,892	77.9%	○
		小計	9,525,000	7,421,892	77.9%	
	事業者健診の結果データの取得	健診機関による委任状取得の委託費	217,600	0	0.0%	○
		健診実施未確認事業所への電話勧奨業務	1,080,000	0	0.0%	×
		健診実施未確認事業所への電話勧奨業務	1,437,480	419,210	29.2%	○
		小計	2,736,000	419,210	15.3%	
	健診推進経費	生活習慣病予防健診（A）	5,443,000	3,570,000	65.6%	○
		事業者健診データ取得（B）	1,746,000	0	0.0%	○
		小計	7,189,000	3,570,000	49.7%	
	健診受診勧奨等経費	健診受診勧奨（年次案内）	1,250,700	1,132,030	90.5%	○
		健診受診勧奨（任意継続加入者）	247,500	124,850	50.4%	○
		健診受診勧奨（新規被扶養者）	253,800	0	0.0%	○
		健診受診勧奨（新規適用事業所）	93,960	0	0.0%	○
小計		1,846,000	1,256,880	68.1%		
合計			21,296,000	12,667,982	59.5%	

②支部保健事業予算（主な実施事業）

（単位：円）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	2年度実施	
保健指導経費		中間評価時の血液検査費	393,000	150,600	38.3%	○	
		医師謝金	52,000	0	0.0%	○	
		保健指導用パンフレット作成等経費	45,000	0	0.0%	○	
		保健指導用事務用品費（測定器機器類等）	140,000	5,940	4.2%	○	
		保健指導等図書購入費	55,000	0	0.0%	○	
		保健師募集広告経費（支部）	50,000	0	0.0%	○	
	保健指導推進経費	新規契約機関又は前年度実績が60件以下の実施機関のうち、当年度実績が61件以上の実施機関		277,200	0	0.0%	○
		小計		278,000	0	0.0%	
	保健指導利用 勧奨経費	特定保健指導の受診勧奨（被扶養者）		71,280	0	0.0%	○
		被保険者特定保健指導の事業所勧奨用パンフレットの作成		202,500	0	0.0%	○
		被保険者特定保健指導の個人勧奨用文書の作成		1,210,000	144,210	11.9%	○
		健康ファイルを活用した特定保健指導の書類管理と満足度調査の実施		388,800	345,600	88.9%	○
		小計		1,873,000	489,810	26.2%	
合計			2,886,000	646,350	22.4%		
重症化予防 事業経費	未治療者受診勧奨		216,000	0	0.0%	○	
	重症化予防対策		54,000	0	0.0%	○	
	合計		270,000	0	0.0%		

②支部保健事業予算（主な実施事業）

（単位：円）

分野	区分	取組名	予算額	執行額	執行率	2年度実施
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	健康アクション宣言事業所を対象とした健康情報誌の提供	270,520	176,556	65.3%	○
		健康アクション宣言事業所の拡大	324,000	90,200	27.8%	○
		血管年齢測定器（6台）の貸出	1,631,728	1,440,000	88.3%	○
		出張健康づくり講座（健康教室）の実施	2,759,560	1,934,400	70.1%	○
		小計	4,986,000	3,641,156	73.0%	
合計			4,986,000	3,641,156	73.0%	
その他の経費	その他の保健事業	自治体・関係団体と連携した健康づくり啓発（イベントでの出展）	670,848	110,000	16.4%	○
		関係団体と協働で行う健康づくり啓発（スポーツイベントでの出展）	136,235	0	0.0%	×
		自治体（11市町）との連携による健診受診啓発（ラッピング電車）	374,000	254,375	68.0%	○
		健康経営セミナーの開催	629,500	0	0.0%	○
		自治体等との連携による健診行動の意識啓発（健康推進アプリ）及び周知ポスターの作成	500,500	356,400	71.2%	○
		メディアを活用した健診行動の意識啓発（健康増進アプリ）の普及啓発	1,526,000	1,518,000	99.5%	×
		小計	3,838,000	2,238,775	58.3%	
		保健事業計画アドバイザー経費	127,000	0	0.0%	
合計			3,965,000	2,238,775	56.5%	

総合計	33,403,000	19,194,263	57.5%
-----	------------	------------	-------

3.令和2年度 支部保険者機能強化予算について (協会全体)

令和2年度支部保険者機能強化予算（協会全体）

【支部医療費適正化等予算関係】

- 令和2年度の支部医療費適正化等予算の関係では、全支部の取組件数が約360件。
それらの取組の現時点における所要額は約7.7億円

分野	区分	主な取組内容	取組件数	支部数	所要見込額
医療費適正化対策経費	企画部門関係	○ジェネリック医薬品の使用促進(70件) ○適正受診対策(32件) ○医療費分析(14件)	116件	43支部	2.0億円
	業務部門関係	○セミナーや研修会の開催(16件) ○外国人対応(1件) ○保険証返納勧奨文書の事業所等への配布(2件) ○第三者行為の届出勧奨(2件) ○負傷原因届の医療機関窓口設置(2件) ○各種勧奨業務委託(3件) ○広報(チラシ・リーフレット)作成送付(3件) ○データ分析による加入者への周知(1件)	30件	23支部	0.2億円
広報・意見発信経費	紙媒体による広報	○納入告知書に同封するチラシ、各種パンフレットやポスターなど(47件)	47件	47支部	2.6億円
	その他の広報	○新聞及び地方広報誌を活用した広報(39件) ○インターネットを活用した広報(20件) ○その他の媒体を活用した広報(96件) ○媒体を複合的に活用した広報(16件)	171件	43支部	2.9億円
支部医療費適正化等予算 合計					7.7億円

【支部保健事業予算関係】

- 令和2年度の支部保健事業予算の関係では、全支部の取組件数が約1,400件。
それらの取組の現時点における所要額は、約38.4億円。

分野	区分	主な取組内容	取組件数	支部数	所要見込額
健診経費	集団健診	○オプション付き(骨密度測定等)集団健診の実施(18支部) ○ショッピングセンター等における集団健診の実施(9支部) ○生活習慣病予防健診の集団健診(6支部)	77 件	47 支部	7.0 億円
	事業者健診の結果データの取得	○外部委託による事業所へのデータ取得勸奨及びデータ入力(39支部) ○事業者健診結果(紙媒体)のデータ入力委託(5支部)	94 件	46 支部	5.8 億円
	健診推進経費	(健診機関、業界団体、商工会議所等を対象として、健診の実施率向上や事業所健診データの早期提供等を図る取組に対して目標を達成した場合に支払う報奨金)	86 件	41 支部	3.4 億円
	健診受診勸奨等経費	○新規適用事業所や健診未実施事業所へ電話または訪問による勸奨(7支部) ○事業所を経由せず直接、被保険者に対し生活習慣病予防健診の勸奨(13支部)	213 件	47 支部	5.8 億円
	その他			71 件	47 支部
保健指導経費	保健指導推進経費	○特定保健指導実施機関における特定保健指導実績の向上に向けた取組の動機づけとなるよう、一定規模以上(健診受診者数1,000人以上)の特定保健指導実施機関を対象に、特定保健指導実績に対する報奨金。	108 件	45 支部	0.6 億円
	保健指導利用勸奨経費	○特定保健指導の電話等による利用勸奨(9支部) ○健診実施時における健康相談(1支部) ○商業施設での集団保健指導(健診結果説明会及びフォローアップ教室)(1支部)	64 件	36 支部	2.2 億円
	その他			317 件	47 支部

分野	区分	主な取組内容	取組件数	支部数	所要見込額
重症化予防事業 経費	未治療者 受診勧奨	○本部勧奨後、支部による電話や文書での勧奨(12支部) ○本部勧奨後、委託者による電話や文書での勧奨(18支部) ○本部勧奨後、支部と委託業者等両者による電話や文書での勧奨(21支部)	51 件	44 支部	3.2 億円
	重症化予防対策	○地域医師会や医療機関との連携による重症化プログラムの実施(33支部) ○外部委託による保健指導や生活改善サポート(7支部)	48 件	46 支部	2.4 億円
コラボヘルス事業 経費	コラボヘルス事業	○健康経営の普及のための運送業界等との連携による業界に特化した広報紙の 作成・配布(1支部) ○健康経営セミナーの開催(21支部) ○健康宣言事業所の普及・促進のための事例集の作成(19支部)	135 件	47 支部	2.8 億円
	情報提供ツール	○事業所健康度診断(事業所カルテ)等の作成・提供、ツールの改修	19 件	19 支部	0.7 億円
その他の経費	その他の保健事業	○喫煙対策(11支部) ○歯周病・う蝕対策・歯科健診(16支部) ○イベント・ブース出展(12支部) ○広報関係(15支部) ○健康意識啓発(26支部) ○測定器等リース(14支部)	126 件	42 支部	2.3 億円
	その他		27 件	27 支部	0.1 億円
支部保健事業予算 合計					38.4 億円

支部保険者機能強化予算 合計					46.1 億円
----------------	--	--	--	--	---------

【参考】令和2年度に実施する支部保険者機能強化予算における取組例

山形	件名	定期診察が理由の未受診被扶養者への受診勧奨
	概要	定期的な診察を受けていることを理由として未受診になっている被扶養者に対し、かかりつけ医でも健診を受けられることを周知することにより、特定健診の受診率向上を図る。
山梨	件名	山梨県と連携した一般名処方拡大へ向けた医療機関・薬局への勧奨事業
	概要	一般名処方の拡大に向けて、県が作成した「汎用後発医薬品リスト」を活用したツールの開発、および医療機関・薬局へのツール配布を通じて一般名処方箋の拡大とジェネリック医薬品使用割合の向上を図る。
静岡	件名	抗菌薬適正化に向けた加入者調査
	概要	加入者の抗菌薬に対する意識や使用実態、耐性菌に関する正しい知識の認知度等についてアンケートを行い、レセプトデータの分析では見えてこない加入者の意識や実際の使用実態を把握する。
高知	件名	ジェネリック医薬品使用促進に係る広報
	概要	ジェネリック医薬品普及啓発のため、SNSやフリーペーパー、交通広告、ラジオ広告等を活用し、メディアミックスによる広報を展開する。
佐賀	件名	子育て世代をターゲットとした適正な医療のかかり方の推進
	概要	佐賀支部の4歳までの1人当たり医療費が高いことを踏まえ、子育て世代に、子ども医療電話相談などの適正な医療のかかり方を啓発する案内を提供し、医療費の適正化を図る。
熊本	件名	加入者のヘルスリテラシー向上化セミナー
	概要	熊本支部の医療費が高い原因の一つとして時間外受診の多さが影響していると考えられるため、加入者のほか広く県民に「上手な医療のかかり方」を知っていただくための講演と、協会けんぽと医療関係団体との対談式セミナーを開催する。
大分	件名	薬剤師お仕事体験ワークショップ
	概要	夏休みに、小学1年生の児童とその親を対象としたジェネリック医薬品使用促進にかかる薬剤師のお仕事体験ワークショップを開催する。

4.令和2年度 支部保険者機能強化予算について (滋賀支部)

令和2年度 滋賀支部 保険者機能強化予算

支部保険者機能強化予算（総括表）

予算区分	分野	経費	【参考】令和元年度経費
支部医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	4,295千円	9,667千円
	広報・意見発信経費	6,092千円	3,136千円
	合計	10,387千円	12,803千円
支部保健事業予算	健診経費	22,465千円	21,074千円
	保健指導経費	2,729千円	2,608千円
	重症化予防経費	370千円	270千円
	コラボヘルス経費	7,883千円	4,986千円
	その他の経費	1,730千円	3,965千円
	合計	35,177千円	32,903千円

令和2年度 滋賀支部 保険者機能強化予算

① 支部医療費適正化等予算

分野	区分	事業名	経費	【参考】令和元年度 経費
医療費適正化対策経費	企画部門	【継続】関係団体との連携によるお薬手帳カバーを活用したジェネリック医薬品使用促進 【新規】医療機関窓口におけるジェネリック医薬品使用促進 【新規】インセンティブ制度に係る事業所への広報 【新規】保険薬局に対するジェネリック医薬品使用状況等の情報提供サービス	4,295千円	9,667千円
	小計		4,295千円	9,667千円
広報・意見発信経費	紙媒体による 広報	【継続】月次で県内全加入事業所に送付する納入告知書に同封する 広報誌「協会けんぽしが」 【継続】健康保険委員等を対象とした事務手続き冊子「健康保険委員必携」 【継続】制度の周知用のリーフレット（任継・限度額適用認定証セット） 【継続】医療機関へ対するポスターの設置（保険証適正利用） 【新規】ペーパリング卓上カレンダー	2,942千円	2,046千円
	その他の広報	【新規】メディアを活用した協会けんぽ広報の実施 【新規】ブラジル人向け求人誌・フリーペーパーでの記事掲載	3,150千円	1,090千円
	小計		6,092千円	3,136千円
合計			10,387千円	12,803千円

令和2年度 滋賀支部 保険者機能強化予算

②支部保健事業予算（主な実施事業）

分野	区分	事業名	経費	【参考】 令和元年度経費
健診経費	集団健診	【継続】協会主催の集団健診の実施（被扶養者）	22,465千円	21,074千円
	事業者健診 データ取得	【継続】健診機関による委任状取得の委託費 【継続】健診実施未確認事業所への電話勧奨業務 【新規】紙媒体で提供された事業者健診結果の入力業務委託		
	健診受診勧 奨等経費	【継続】生活習慣病予防健診（一般健診） 【継続】健診受診勧奨（年次案内） 【継続】新規適用事業所に対する健診案内送付 【新規】健診受診勧奨（はじめての健診案内） 【新規】滋賀県薬剤師会との連携による健診受診勧奨		
保健指導経費	保健指導利 用勧奨経費	【継続】特定保健指導リーフレット作成（被保険者・被扶養者） 【継続】被保険者特定保健指導の個人勧奨用文書の作成 【継続】健康クリアファイルを活用した特定保健指導の書類管理と満足度調査 の実施	2,729千円	2,608千円
重症化予防事業 経費	未治療者受 診勧奨	【継続】高血圧・高血糖者に対する受診勧奨	370千円	270千円
	重症化予防 事業経費	【継続】糖尿病性腎症患者の重症化予防対策		
コラボヘルス経費	コラボヘルス事 業	【継続】血管年齢測定器の貸出 【継続】出張健康づくり講座（健康教室）の実施 【継続】健康アクション宣言事業所を対象とした健康情報誌の提供 【継続】健康アクション宣言申込書の作成 【新規】健康づくりに関する好事例集の作成 【新規】健康経営セミナーの開催	7,883千円	4,986千円
小 計			33,447千円	28,938千円

令和2年度 滋賀支部 保険者機能強化予算

②支部保健事業予算（主な実施事業）

分野	区分	事業名	経費	【参考】 令和元年度経費
その他の経費	その他の保健事業	【継続】自治体・関係団体と連携した健康づくり啓発（イベントでの出展） 【継続】自治体（11市町）との連携による健診受診啓発（ラッピング電車） 【継続】自治体等との連携による健康行動の意識啓発（健康推進アプリBIWA-TEKUの運用） 【新規】若年層への健診時期に合わせた生活習慣改善の勧奨	1,730千円	3,965千円
		小計	1,730千円	3,965千円
		合計	35,177千円	32,903千円

5.令和3年度 支部保険者機能強化予算策定のプロセスについて

滋賀支部評議会と支部保険者機能強化予算の関係（今後の協議予定）

